

アニマル・ナーシング

Vol. 1

1996 6 June



日本動物看護学会

Introducing Eukanuba Veterinary Diets



Skin Problem

オメガ-6：オメガ-3脂肪酸の適切比により皮膚疾患の回復を助成します
犬用FP

Obesity

健康な腸管、皮膚、被毛を維持し、高線維質に頼らずに確実な減量ができます
犬用RCF

GI Problem

低残渣、FOSの作用により腸管環境を改善します
犬用LRF

ユーカヌバ・ベテリナリーダイエットは獣医師専用の療法食です。

アイムス社の誇り、最先端の科学的研究により見いだされた栄養学に基づき、開発されたユーカヌバ・ベテリナリーダイエット。これまで満たされなかった犬の栄養を満たし、すばらしい臨床的効果をもたらします。先生方の患者に対し、安心して処方いただけるのはもちろん、ペットオーナーからも、きつのご満足いただけます。院内管理用フードのユーカヌバ・カスタムも併せて、ご利用ください。

EUKANUBA
VETERINARY DIETS
ユーカヌバ・ベテリナリーダイエット

ユーカヌバ・ベテリナリーダイエット

肥満の管理に、**犬用RCF** レストリクテッド カロリー フォーミュラ

肥満に関する健康問題を抱えている患者に対して効果を発揮する、高線維に頼らないベテリナリーダイエットです。ドライ：1kg/3kg/6.35kg/12.7kg

ユーカヌバ・ベテリナリーダイエット

炎症管理に、**犬用FP** レスポンス フォーミュラ FP

炎症に伴う代謝性副産物を抑え、体内から皮膚・被毛の健康を維持するベテリナリーダイエットです。ドライ：1kg/3kg/6.8kg/13.6kg、缶：396g

ユーカヌバ・ベテリナリーダイエット

腸管の管理に、**成犬用LRF/仔犬用LRF** ローレジデュール フォーミュラ

炭水化物源FOS(フルクトオリゴサッカライド)を含んだ、低脂肪・高消化率のベテリナリーダイエット。消化障害、細菌過剰増殖、膵外分泌不全、炎症性腸疾患、高脂血症、急性膵炎、リンパ管拡張症、蛋白喪失性腸炎、一過性非特異性の下痢、寄生虫性疾患に処方できます。

仔犬用ドライ：1.5kg/3.5kg、成犬用ドライ：1kg/3kg/13.6kg

院内専用食、**CUSTOM** ユーカヌバ・カスタム [成犬用]

消化障害や偏食のある成犬の一般健康管理、体重維持用です。成犬の一生のフードとしてもご利用いただけます。ドライ：10kg

[輸入元]



アイムス・ジャパン株式会社
東京都品川区大崎1-6-1 大崎ニューシティ1号館8F
TEL: (03)5496-2719 FAX: (03)5496-2957

[総発売元]



日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町郡川字平ノ上1-1
TEL: (0249)45-2300 FAX: (0249)45-2394

Animal Nursing

アニマル・ナーシング

Vol.1



会場風景

CONTENTS

- | | | |
|----|------------------------------|-------|
| 2 | … 日本動物看護学会第2回総会のご挨拶 | 今道 友則 |
| 3 | … 学会設立の祝辞 | 杉山 公宏 |
| 4 | … 日本動物看護学会設立大会・教育講演 | 林 良博 |
| 10 | … 動物看護師養成の立場から | 岩田千代蔵 |
| 11 | … 「動物看護師」ってなに!? ～動物看護師のゆううつ～ | 岡本 匡道 |
| 12 | … 野生動物における動物看護の考え方とは!? | 富沢 保浩 |
| 16 | … 私が看護学会に望むこと | 高山 正美 |
| 17 | … 日本動物看護学会設立によせて | 小松 千江 |
| 18 | … 日本動物看護学会発足総会に参加して | 秋山 圭子 |
| 20 | … 私が看護学会に望むこと | 増田 寿子 |
| 20 | … 動物看護師について一獣医と飼い主の立場から | 福田 俊 |
| 24 | … 第1回日本動物看護学会開催報告 | 桑野 悟 |
| 26 | … 第1回総会報告 | 桜井富士朗 |
| 28 | … 日本動物看護学会規約 | |

日本動物看護学会第2回総会のご挨拶

日本看護学会会長 今道友則



昨年12月に本学会が発足して半年が経過し、ここに第2回総会を開催するに至りましたことを、会員皆様と共にお喜びする次第であります。

我々は動物看護学会を確立して、動物看護士の学問的基盤を作ると共に、動物園の飼育技術者、実験動物技術者、畜産技術者や獣医師にとっても必要な動物看護学にしなけなければならないと考えております。

地球上に等しく生をうけた人と動物の命を相互に尊重して共存する世界を作ることを念頭におき、動物看護学の立場では、動物愛護精神にもとづいて動物の欲求・快・不快等の各種の心理状態を動物の行動の細やかな変化によって察知して適切に対応する方途を経験的・技術的・実務的に整理すること；疾病や障害の診察・治療の補助技術の標準化、疾患動物の看護、幼若動物・妊娠動物・老齢動物等の介護の方法；畜主の動物飼育取り扱いの技術的・精神的指導等の多くの問題について各種動物に共通する総論的整理と動物種別その他の各論的問題の整理を行うこと等が必要と思われます。

今回は、シンポジウムのような形式で、動物看護に関与しておられる各方面からの演者にご講演いただき、動物看護学がカバーすべき分野・範囲・未知の問題等について討議し、理解を深め、今後の動物看護学の発展を画りたいと思います。会員の活発な討論を期待致します。

学会設立の祝辞

日本獣医畜産大学学長 杉山公宏



日本動物看護学会の発足総会が、動物看護に深いご関心をお持ちの多くの方々のご出席のもとに、盛大に開催されましたことを先ずはお喜び申し上げます。また、この記念すべき総会が本学で開催されたことは、私共にとりましては大変光栄であります。深く感謝いたしております。

人は現在生態系のピラミッドの頂点に立っていますが、その人の繁栄の歴史はまさに地球の破壊の歴史でありました。ここで人は、先ず現在の立場を十分認識し、過去をじっくり振り返って、そして未来に向かって行動しなければならないと思います。

本学は、「敬讓相和」を建学の精神としております。これは、ご存じのように、尊敬と謙讓の必要性・重要性を説いた孔子の教えであります。私共、動物界に広く関わる者は、この教えを単に人にもみ留めず、動物界にも適用する必要があると考えております。当然のことながら、本学は動物看護の必要性・重要性を十分配慮した教育・研究活動を行うよう心掛けております。

この会がますます発展し、動物看護の理念が広く社会に徹底する原動力となることを強く希望しまして、挨拶とさせていただきます。

日本動物看護学会設立大会・教育講演
「人と動物の関わり」の中の動物看護師の役割

人と動物の関係学会会長 林 良博



ディシプリン（学問の分野）が
明確な動物看護学

ヒトと動物の関係学会会長の林良博です。94年4月に学会を作り、現在会員が約800名です。ヒトと動物の関係学会としても、まず最初に日本動物看護学会が発足されたことを心からお慶び申し上げたいと思います。

おそらく歴史的にみますと、「なぜ、20世紀後半にいろいろな学会ができたのだろうか」という疑問は、私達が21世紀になったときに説明がつくと思うのです。しかしヒトと動物の関係学会や日本動物看護学会にしる、大きな歴史の中でどうしてこの時期に作られる必然性があったのかというのは、この瞬間にはわからない。おそらく5年後、10年後に「あの時にできる必然性があった」ということがもっと明確になるだろうと思います。

ただ、私達はそういう渦の中にいるということは、短い、100年に満たない人生の中でとてもいい機会に巡りあえたなと思います。そういう意味で私達の学会と、ある意味で共通点が多い日本動物看護学会ができたことを重ねてお慶び申し上げたいと思います。

一般の人は、動物看護学というのは獣医学と全く同じような印象を抱く。そもそも看護学という言葉自身が、ある目的・指向性がとても強いのです。それだけに“ディシプリン”がしっかりしているわけです。それが動物看護学だと思います。そして獣医学とある意味では非常

によく似た“ディスシプリン”がある。むしろ今までなかったことが不思議なくらいです。学問として存在しているにもかかわらず社会的な条件が成熟していなかったのだらうと思います。ですから動物看護学分野の学会ができなかったのは、残念なことだったわけです。

しかし動物看護学は“ディスシプリン”がしっかりしていますから、一つの学として学会を構成する必然性がありました。私達ヒトと動物の関係学は“ディスシプリン”がなくて非常に“インターディスシプリン”といいますか、ある意味では“トランスディスシプリン”と私達は言っていますが、いろんな分野を貫くような学会、学問でありますので、ある意味では何をやっていいのかよくわからず、いろんな分野の方達がその中に入ってきて論議するという難しさがあります。

21世紀を迎えるにあたって、これだけ多くの人たちが自然と人間の関係、ないしは動物や他の生物と私達人間の関係に対して、心を痛める、あるいは危機感をもっているというのは、おそらく400万年といわれる長い人類の歴史の中で、この時期しかないのではなからうかと思えます。ここまではヒトと動物の関係学会の会長としてのお話を申し上げました。

私が大学で獣医学を学んでいた1968年頃、学生運動を一生懸命やったせいだと思いますが、大学から追放され農学部獣医学科にいれなくなってしまった。それで、どうしようかな、と思っていた頃、『アニマ』という雑誌が発刊されることになり、私は創刊号から“囑託”として手伝っていたものですから、将来動物評論家として生きていこう、とその頃考えていました。

幸か不幸か、東京大学に医科学研究所という研究所があり、これは昔、伝染病研究所といひまして、いろんな病気とヒトとの関わりを研究していた。北里柴三郎先生が作り、野口英世先生がいた伝統ある研究所です。その研究所がヘビの研究で奄美大島に助手が1人必要だということになり、5年間奄美大島に赴任したのをスタートに大学で研究することができるようになりました。

奄美大島の赴任をスタートに、私は医学という別の世界にいたものですから、獣医学を客観的にみることができました。そこで2つの話しをしようと思います。やはり獣医学と動物看護学はちょうどヒトの医学と看護学の間にはちがいますが、その2つの関係と非常に近い関係にありますので、日本の獣医学の構造みたいなことをまず話したいと思います。

客観的にみて、しかも、獣医解剖学という普通の人からみたらいやな学問をやってきて、獣医の中では主流ではない人間が獣医学をみると、こうだということを述べてみます。

開かれた日本動物看護学会をつくる

日本獣医学会というのは4500人の会員を擁しています。日本獣医学会とは別に日本獣医師会もまた学会をつくっています。この学会は臨床的に小動物、産業動物、さらに公衆衛生の3学で成り立っている。日本獣医学会というのは、獣医学を学ぶためのものですから、必ずしも獣医の方ばかりが集まっています。一方、日本獣医師会は臨床獣医師だけが集まっています。必ずしも一緒にしない方が、おそらくよいのだらうと思います。

さらに日本学術会議の獣医学だけの“権限”をみますとそこに17の学会が所属している。全部を含めると相当数の学会がある。それに対し動物看護学会が2年後、学会として認知されることになると思いますが、認知されるためには、どこの分野に入ることになるのか、まずお決めになることだと思います。私はこうしたらいい、ああしたらいい、ということはありませんが、獣医学との関連を考えれば、現在の学術会議のガイドブック、獣医学“権限”関係に入っていくのかな、という感じがします。本来はもう少し理論的なことを申し上げたいと思っていたのですが、『発足総会要旨』を見せていただきますと、看護学の定義などが書いてあるものですから、実際的なことをお話ししたいと思います。

獣医看護学と動物看護というの組織が違ってくる。学というのは学会ですから。これを考えるのは、例えば弁護士の方が動物看護学を学ばれようとかまわさない。動物医療と関係の無い主婦の方が学問として動物看護学を勉強したい、研究したいとなれば当然学会に入会できる資格がある。ところが、動物看護師の方が自分達の利益を守るために学会を作り—当然必要なことですが—その中心は動物看護師の方がならないと、おかしいわけです。

日本動物看護学会は様々な分野の人達に対して、動物看護学という一つの学問を、動物看護師だけとか獣医師だけとか、そういう人たちだけに開かれるものではなくて、だれにでも開かれた門戸をつくる。ただし、一方で実際にこのようなことを行いますと、動物看護師の経済的な背景はどうなっているのか、ということをまず、知っていただいた方がいいのではないかと。日本の小動物産業界に未来があるのか、ないのか、

か、ということ、私が知る範囲で少し申し上げたいと思います。

将来の動物病院の産業的基盤を考える

これは「そのデータは確かなのか」と言われたら、私は「わかりません」としか答えられませんが、例えば厚生省が把握しているだけで、日本に犬が約430万頭登録されている。しかし実際には800万頭、見方によっては約1000万頭いるとされている。この数字自体倍でしょ。倍の数で話さなくてはいけない。登録頭数だけでは話しにならない。例えば、動物病院。小さな動物病院であれば獣医師1人。そこに「日本で飼われている犬がどの程度来院していますか」といわれたときに、400万頭を基礎に出すのか、800万頭を基礎に出すのか、全然意味が違ってくる。だから私の言うことはかなり推定だと思って、聞いて頂きたい。

アメリカは日本の人口の2倍。日本はアメリカの半分だということを前提に話しますと、アメリカには動物病院が22000軒。日本では6400軒。このことからいうと、単純に人口比だけからいえば、あと3000軒の動物病院が増える余地がある。

事実、大学で獣医学を教えているものですが、学生たちの未来に対して非常に心配しています。本当に情熱を持って学問を学び、将来そういう仕事につきたいと思っている学生たちが将来どうなるのかな、といつも気にかかっています。

毎年、16の獣医大学で1000人の獣医師の資格を取った卒業生がうまれます。その内の300人がまちがいなく開業獣医師になる。将来、それだ

けの人達が食べていけるかを知りもしないで、勝手にやれというのは先生として無責任だと思いい、「もっとよく考えてから開業医になりなさい」といっていますが、最終的には「やりたいことやりなさい。君の人生だから、がんばってください」といっています。

最近心を強くしているのは、300人の獣医師が1動物病院ずつ開業したとする。10年で3000の病院が増える。そうすると先程いった6400と合わせると9400。人口比でいってアメリカ並。では実際「これだけのことができるのか」と問われれば、できると思います。その根拠はアメリカの1病院で年間の平均売上は13万ドル。1ドル100円で計算すると1300万円。日本の1病院の平均は1800万円。日本は500万円多い。しかし日米の物価水準を考慮すると、1ドル200円で計算しないと本当の意味で比べることはできない。だから200円で計算すると、アメリカは2600万円。実際にはアメリカが800万円多い。まだまだ日本の動物病院が売上を伸ばす可能性があるということになる。

さらに1患者の平均診療費50ドルをかけると、1ドル100円で考えると5000円ですね。日本は1患者あたり、平均250ドルとすると、1患者あたり25000円です。日本の方が5倍高い。これは、これだけのお金を払えない飼い主、でも病院で診察してもらいたいという人を結果として排除していることになる。事実、アメリカでは来院率が犬の飼い主70%、猫の飼い主60%といわれている。ところが、日本の場合、犬も猫も40%に満たない。だから、もっともっと患者が来院してもいいんじゃないか。

そして、この動物看護学会で学んだ若い人たちの希望をどのように生かしたらいいかといえ

ば、動物病院の数をあと3000増やすこと。これをぜひとも達成していただきたい。これは学問と何も関係ありませんが、しかし学問が栄えるか栄えないかは、産業的基盤がどうなっているかということと、全く無関係ではありません。「戦略的研究」というのを東京大学で進めています。昔、大学は産学共同だの何かと結び付いた学問を絶対にしてはいけない、と私も学生の頃はいていたのですが、その主旨は変えます。戦略的研究というのは、まさにそのことでありまして、私達がやっている研究というのはなんらかの形で社会に還元されるということを考えますと、やはりそれは大切な視点になります。このことを考えて欲しいのですが、獣医学科もそうですが、日本の獣医学科の特徴は1000人卒業するのに300人しか臨床に進まない。それ以外の獣医師は公衆衛生関係、薬の開発、バイオ関係。中には獣医学の知識を持ってマスコミで活躍している人もいます。今後も日本の獣医学の産業的構造は変わらないだろう。ここが欧米と違うところです。

日本の場合、動物看護学を学んだ人たちもいろんな分野に進出するわけですが、ワン・オブ・ゼムで動物病院も該当するけど、他にもたくさんあって、最初から否定しないのが日本的な学問が伸びる一つの秘訣だろうと思います。そこは学会としてぜひ考えていただきたい気がします。日本の獣医師の産業的基盤と関係させた形で、動物病院現在どうなっているか、将来どうなっていくかというお話をいたしました。



日本独自の動物看護学をつくる

それでは、動物看護学の将来はどのようなのか

ということを考えてみます。『発足総会要旨』にすばらしい看護学の定義がありますし、これはぜひ参考にしなければなりません、その上で動物だからこそ、というか、動物における看護学は何なのか、ということをしてこの学会で定義したら素晴らしい学会になるだろうという気がします。

先ほどいいましたようにヒトと動物の関係学会をつくりましたけれども、ヒトと動物の関係がベースになった上で動物看護学というのは成立する。ヒトの場合は本人とその家族で成立する。本人のためだけではなく、家族のためにもというのがヒトの医療の中にあると思いますが、看護の対象になる動物そのものとそのパートナー—飼い主ということばがいやで、パートナーで統一していますが—は、動物の視点に立たざるをえない。これはヒトの医療とかなり違うだろう。動物とその飼い主の関係の中で看護を考えることは、おそらく斬新な戦略的研究。それが動物看護学会という学会を作られた大きな目的の一つだと思います。

それと、多くの方が関心をもっているテーマがアニマルセラピーです。動物介在療法と訳されています。ヒトと動物の関係学会では月に1回ずつ月例会をやるということで、1回目は、チンパンジーの研究で有名なジェーン・グドール女史に講演してもらった。ただディスカッションできなかったの、2回目はディスカッションできるものをやるということで、アニマルセラピーを取り上げたところ、約200の方が来られた。中には九州から来られた方もいました。非常に多くの方がアニマルセラピーのことを考えています。

これは確かに考えれば理由がある。というの

は動物が大好きな人、現在、動物の種類を問わなければ、4世帯に1世帯は動物を飼っている。これはすごい数ですが、逆に言えば4世帯のうち3世帯は動物を飼っていないわけですから、多数決でいけば、飼ってない人の方がいろんなことで決定権を持つ。つまり動物関係の社会的状況がそうなっている。マンションでのペット飼育禁止もそうです。

だけど「アニマルセラピーってこんなに人の役に立つんだよ」といわなくても犬や猫と暮らしていると、どれだけ彼らから恩恵を受けているか知っている。僕は毎晩12時から30分間犬と散歩をします。その30分間にその日の疲れを全部、犬がいるから忘れることができる。本当に僕にとってありがたいパートナーです。そんなことを動物を飼っている人は知っている。だけど、「日常的にお世話になっています」といったってインパクトが無いわけです。「こんな病気に効くんだよ」と言う方が社会的にインパクトがある。だから、アニマルセラピーというのは動物の権利を守りたい人にとっては非常に魅力的なテーマなのです。

もう一つは動物に何も興味がない、好きでも嫌いでもない、しかし先を読むのが鋭い人はアニマルセラピーに非常に注目している。アメリカ、ヨーロッパの例をそのまま日本に当てはめるわけにはいきませんが、単純計算を私なりにすると、21世紀には日本の人口の約6割が高齢者になる。日本の医療は薬を大量に使う傾向にありますので、高齢者の医療費が膨大に膨らむ。そこで、高齢者の人たちが動物を飼って、そして病院に行かなくなった場合、単純に日本の国家財政が1兆円安くなる。このことは動物が嫌

いな人もこの戦略をいうと黙る。その中で動物看護学会の方たちが、もっと動物の側に立った発言をしてもらいたいと思います。

なぜかという、このままでは動物を利用するという事に変わりはない。偏った動物看護学にしかありません。欧米では動物を道具として役立てる、産業革命から始まってその歴史が長いものですから、そのうえで動物愛護、動物福祉というのが非常に定着している。しかし、日本は利用することがあまり上手でなかったし、そういう歴史を持たなかった。だから、利用の

仕方也非常に下手だ。まだまだ日本は動物問題は未熟です。しかし、もともとそれほど利用しようとしなかった人たちが、別の視点で動物看護学というのを作る可能性は日本にはあると思います。それが、おそらく欧米にすでにある動物看護学の概念と、日本で作り出す概念と違ってくるのではないか。そういう意味では日本動物看護学会がぜひそういうことに着目されることで、将来まちがいなく発展するでしょう。どうかこの学会が将来に向かって、発展されることを期待しています。

輸液療法の決定版遂に完成!!

小動物臨床における輸液療法

—基礎と実践—

FLUID THERAPY IN
SMALL ANIMAL PRACTICE

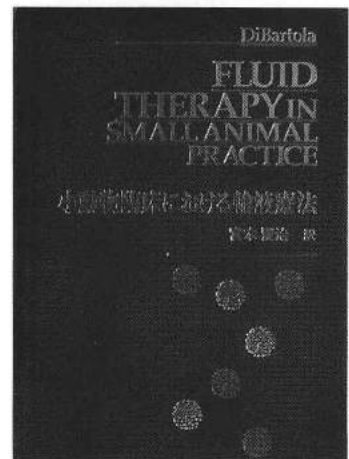
輸液療法は抗生物質療法と同じく小動物臨床で最も汎用されている治療法ですが、その反面治療法が適切かどうかを正しく評価しにくい治療法でもあります。本書はアメリカの獣医科大学で輸液療法の教科書として、また臨床の場で広く使われているものです。前半は基礎編で輸液療法に関係深い生理学を詳細に概説し、後半は応用編で輸液療法の種類やテクニックをそれぞれの疾患に応じて詳しく、しかも簡潔に説明されています。

また、本書の最後の部分には著者らが大学病院で実際に治療した44症例について治療内容が詳しく解説されており、それぞれの症例を治療する場合の輸液療法の原則を復習できるように作られています。本書は世界でも類を見ない高レベルな輸液療法の教科書であり、おそらく、臨床家にとって、10年に一度の心携の書になり得るでしょう。

●主な内容

- 第1章 犬猫における体液の組成と分布
- 第2章 腎臓生理学
- 第3章 ナトリウムと水の疾患：
高ナトリウム血症と低ナトリウム血症
- 第4章 カリウムの疾患：
低カリウム血症と高カリウム血症
- 第5章 カルシウムの疾患：
高カルシウム血症と低カルシウム血症
- 第6章 リンの疾患：
低リン酸血症と高リン酸血症
- 第7章 酸-塩基障害の基礎
- 第8章 代謝性アシドーシス
- 第9章 代謝性アルカローシス
- 第10章 呼吸性酸-塩基障害
- 第11章 混合型酸-塩基障害
- 第12章 酸-塩基障害に対する新しいアプローチ
- 第13章 輸液療法：入門編
- 第14章 輸液療法：実技編
- 第15章 輸液療法
- 第16章 非経口栄養
- 第17章 経腸栄養
- 第18章 ショック：概念と治療
- 第19章 高張輸液療法
- 第20章 麻酔および手術中の輸液療法
- 第21章 消化器疾患、膵疾患および肝疾患に対する輸液療法
- 第22章 心不全における輸液療法と利尿療法
- 第23章 原発性腎不全における輸液療法
- 第24章 腹膜透析
- 付 録 症例検討(44症例)

W.B. SAUNDERS
著者：S.P.DIBARTOLA他
訳者：宮本 賢治



B5判 約850頁(上製本)
定価 38,000円
(税込・送共)

株式会社ファームプラス

〒169 東京都新宿区高田馬場3-12-8
高田馬場センタービル502
TEL 03-3360-8601 FAX 03-3360-8650

□ 動物看護師養成の立場から

獣医師 岩田千代蔵

この度の日本動物看護学会の発会を心よりお祝い申し上げます。

私が動物看護師の養成という事柄に携わったのは現在の大阪動物看護学院を開校した1979年(昭和54年)の7月でした。当時は現在の高度化された小動物臨床獣医学が欧米諸外国より導入され始めた頃で動物看護師という職種が欧米では臨床獣医学の中で認められ活躍の場もっていることを耳にする程度でした。その為に多くの獣医師の方々から“ニセ獣医師”の養成校だとか数多くの非難がありました。特に小動物臨床が今のようなシステム化されたものではなく従来の大動物中心の臨床獣医師の方々を中心とした小動物臨床獣医学が大きく変化し始めた頃であった為経営的な面からも非難の火種があったようにも感じました。

しかしそうした非難に対して時として安易なお手伝いさんの養成になりがちな考えを当初より捨て将来的な考えより一貫した基礎獣医学を中心としての知識の導入と同時に身分的な立場を十分に理解させる為の関連法規や動物をより理解する為に必要な行動特性(小動物特にイヌ、ネコ)を並行して教えることをして参りました。飼い主に今獣医師がどのような考えで治療に取り組み努力しているかをより良く理解させる為には飼い主が気軽に自分の疑問を投げかける存在が必要であり、又獣医師が来院患者の診断治療により多くの時間集中出来、直接種々理解出来るよう飼い主に説明することの時間の短縮と更に飼い主が気軽にという気持ちをもてる為の存在としての動物看護師の養成を目指してきま



した。

現在小動物臨床獣医学は当時と比べると程高度に進歩しシステム化されています。これらの臨床の場では多くの知識が求められます。その為には臨床獣医学を理解する基礎獣医学を吸収する基礎学力も本来は求められます。反面臨床の場では安易に使える、そして収入面にも多く寄与してくれる人達も求められている事も事実だと思っています。

今、人医療の中での准看護婦制度が多くの問題となっていますが正に現在の小動物臨床獣医師が直面している問題であろうと思います。その為にはやはり一つの目的をもった養成の段階を定め、そしてその能力を認定出来るシステムを早急に確立しそれぞれの動物看護師が自分の仕事に生き甲斐を感じて努力し将来に夢を託せる制度を検討しそれに応じた待遇が裏付けられる事が必要だと思います。現在の日本における動物看護師はどのようにあるべきかは多くの獣医師それぞれに意見のあるところだと思いますが、私共はまず現時点では前にも書きましたが獣医師に代って飼い主に動物が健やかに育つにはどんな心配りが必要か動物の日常の行動が何を示し訴えているかを理解する事を教え、病む動物に対する温かい心配りと飼い主に対しての対応の仕方を教える知識と飼い主が動物を介し

て心安らぐ事の出来る人格も求められると思います。

発会式の講演として現代社の竹内吉夫編集長の人医における看護婦教育におけるナイチンゲール看護論の中の看護の基本とは“個々の生体もっている自然治癒力を如何に引き出しその回復力に対する手助けをするか”であると書かれていると言うお話がありました。獣医師は自分の持っている知識技術を最大限に発揮出来るよう努力し患者に対しますが、それに患者が応える為には動物看護師の正しい病気に対する理解とアドバイスが必要となります。更には個々の自然治癒力を高めるには日常どのような事が要求されるかも飼い主に教える必要もあり動物看護師の大きな役割であろうと思います。又今後は現在大きな課題となっている「アニマルセラピー」の推進も又動物看護師の大きな役目であろうと思われるとの提言も東京大学の林良博教授からありましたが正にその通りであり日本の風土特性に応じた“人と動物の関係”を考えていく為には動物看護師は動物と人の共通の疾患に対する正しい理解とその為の知識も求められます。発会式当日にも話題となりましたが“安楽死”の問題や可愛がっていた動物の死と飼い主の心理的なつながりを理解した対応も動物の医療には欠かせないものです。

このように動物看護師として為すべき分野は非常に広くその為にはどのような知識を如何にしてどの程度までといった基準も今後検討されるべきであると思います。この時期に動物看護学会の設立された事は今後の動物看護師の養成の目的と将来に大きな指針が与えられる事と思っております。

最後に日本動物看護学会の益々の隆盛と日本における動物看護師の大いなる活躍の場が与えられる事を期待します。

□ 「動物看護師」ってなに!?

～動物看護師のゆううつ～

獣医師・青山ケンネルカレッジ教員

岡本匡道

いったい動物看護師とは何者であるのか。動物看護とは何か、そして動物看護学とは。

動物病院における「飼い主～動物～獣医師」のトライアングルの中でいったい動物看護師と呼ばれる彼女（彼）らはどこにその居場所を見出せば良いのか。

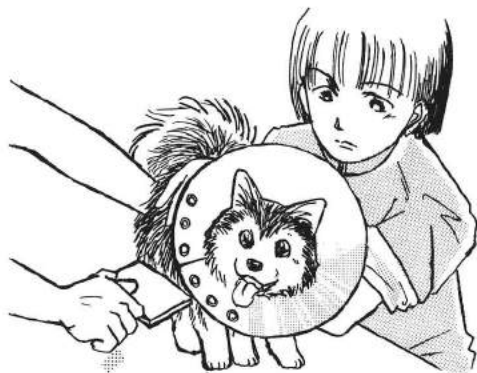
今回私は動物看護師と動物看護学を取り巻く様々な事柄の中から、現在の動物看護師のおかれている状況と問題点のいくつかを参考までに述べてみたい。

冒頭に記した疑問の答えと課題の一つが、「資格と仕事の範囲」であろう、もっといえば①「資格の認定と学習の場及び学習内容」の問題と、②「雇用と仕事の内容」の問題である。ここでは特に②「雇用と仕事の内容」の問題について触れることにする。

この問題は具体的には第一に給与、社会保障、休日などの待遇であり、第二に動物看護師としての仕事の内容や範囲である、さらに第三点目を上げるとすれば広い意味での人間関係などがあるかもしれない。これは動物看護師の問題であると同時に実は獣医師の問題である。獣医師は経済的、資格的、社会的に独立性・自立性があるが、これに対して動物看護師は経済的な独立性・自立性は無く、資格的、社会的な面でも独立性・自立性は現在では無いと言って良いであろう。獣医師は動物病院の開業により雇用者

になり得るが、動物看護師は通常は被雇用者であり、経済的にも、仕事の内容（資格）の面でも従属関係にある。仕事の内容（資格）で両者の関係が逆転する事は有り得ないし、経済的つまり雇用と被雇用の関係が逆転して動物看護師が獣医師を雇う事は無いとは言えないが、ほとんど有り得ないだろう（少なくとも現在は）。動物看護師は現在もそして将来も基本的には獣医師なくしては職業として経済的にも資格的にも存在し得ないのである。もっとはっきり言えば獣医師が動物看護師をどう考え、どう扱い、どう育て、どう対話して行くかで彼女（彼）らの将来が大きく変わるのである。動物医療において動物看護師は獣医師の良きパートナーなのか？それともただの手伝いのオネエちゃんなのか？

社会的に常に“強者”である獣医師の“弱者”である動物看護師に対する理解と、動物医療の現場における両者のより良い関係づくりがいまこそ求められていると思われれます。動物看護学の発展は動物看護師と獣医師の“両輪”がかみあい、さらに様々な分野の方々の活動があって初めて進むのではないのでしょうか。



追記 動物看護師を“ピンクちゃん”（白衣の色からか）と呼ぶ獣医師とはいったいなんなのか、そう呼ばれる動物看護師とは何者なのか…

□ 野生動物における 動物看護の考え方とは!?

都市のタヌキ研究会 富沢保浩

私の所属する“都市のタヌキ研究会”では多摩丘陵、特に神奈川県川崎市周辺に生息するホンダヌキ・*Nyctereutes procyonoides viverrinus*（以下タヌキ）の生態調査を行っています。調査は主としてラジオテレメトリー法を利用した個体群動態の調査と交通事故等で死亡した個体の解剖による栄養状態、繁殖状態等の調査です。私達の調査フィールドは住宅地とその周辺の雑木林です。ここに生息するタヌキはその食生活においてかなりヒトに依存した生活を営んでいて、例えば解剖した個体の胃内容物を観察してみると、いわゆる残飯がかなりの量検出されます。

また、発信機を装着させて追跡している個体のなかには一般家庭で餌付けされているものもいます。“餌付けされている野生動物が純粋な野生動物と言えるのか？”については諸説ありますが、私は都市に生きる野生動物とヒトとの付き合い方としては決して悪いものではないと考えます。そんななかで私なりに野生動物とヒトとの（動物看護的な意味も含めた）付き合い方について改めて考えてみました。

臨床的な意味でいう野生動物看護について、東京野生動物救護獣医師協会や動物園の保護施設等で獣医師の資格を持った方々がその実践にあたられているので、そちらにお任せいたします。

さて、今から3～4年前になりますが全国的に

タヌキに疥癬症（ヒゼンダニ・Sarcoptes scabiei感染症）が大流行しました。疥癬症にかかったタヌキは全身が脱毛し、重症になると失明して最終的には死亡します。この時はテレビや新聞も大きく取り上げたので記憶されている方もいらっしゃると思います。また、なかには実際に治療された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

先にも書きましたように、私達のフィールドには餌付けされているタヌキが何頭かいました。餌付けされたタヌキは直接観察が可能なため貴重なデータがとれます。しかし徐々に餌付けタヌキにも疥癬症の個体が観察されるようになり、餌をあげている方から“うちの庭に来るタヌキが脱毛しているので助けてやってほしい”と、相談を受けるようになりました。好意でタヌキ達に餌をあげている人達にしてみればペット同様に可愛がっているタヌキがみすほらしく脱毛していくのは当然かわいそうで、そのタヌキを追いかけている私達がどうにかしてやるのが当たり前、と思われるのも当然です。しかし、私達は獣医師ではありません。治療法を知っていても薬を自由に扱う事も、治療行為を行う事も出来ません。その時はいろいろ思案しましたが、私達の出した結論は“彼等は野生動物で、ペットではないのだから仕方ない”ということでした。冷たい言い方ですが、ヒトから餌をもらっていても、やはりタヌキは野生動物です。弱い個体は生き残れない自然の掟の中で生きています。疥癬症を自力で克服している個体もいるのですから、最後は個体の生命力に懸けるしかないのです。そもそもゴミ置き場や餌付け場、といった限定されたエサ場に多くの個体が集中してエサ資源を求める都市のタヌキにとっては接触により感染する疥癬症は、ある意味では避ける事の出来ない障害なのかもしれません。疥癬

症は人為的におきるものではなく、常に自然の中に存在します。私達のフィールドでも最近また脱毛タヌキが多く観察されるようになりました。

都市の中に生きるタヌキ達が今後も“都市”という空間にその生活の場を求めるのならば、少しでも疥癬症に抵抗性のある遺伝子を継代していく事も、より都市という環境に適応していくためには必要な種の努力なのかもしれません。

ヒトの生活空間に近い所、もしくはヒトの生活空間の中にある生き物達も大自然の掟の中で生きている“野生の生物（動物）”である、と正しく認識する事こそが（若干ニュアンスが違うかもしれませんが）野生動物における動物看護を考える時、最も基本となるところではないでしょうか？

あまりにも当たり前なことですが、今回疥癬症のタヌキを通じて改めてそれを再認識しました。



この一冊で寄生虫の鑑別・治療・予防がわかる!!

オールカラー

小動物寄生虫鑑別マニュアル

監修/今井壮一

(日本獣医畜産大学寄生虫学教室)

著/佐伯英治

(日本獣医畜産大学寄生虫学教室)

編/梶ヶ谷博

(日本医学技術専門学校)

A4判上製本 約100頁
定価20,000円(税、送料込)

カラー写真
400点以上!!



本書の内容

本書は内部寄生虫と外部寄生虫の鑑別マニュアルである。目前にある寄生虫の正体を知ることを主目的に編集された。寄生虫の種類さえ知れば、治療法や学問的内容の詳細については良書が数多くある。それらを参照して頂ければよいと思う。この目的のために本書は数多くの特長を備えている。

本書の特長

1. 即座に目前の寄生虫を検索できるように、虫体、虫卵別に総検索表を掲載。
2. 日常臨床で遭遇する主な内部寄生虫と外部寄生虫についてはすべて網羅した。
3. 原則としてすべて400点以上のカラー写真で掲載、見やすさを重視。
4. 各種の寄生虫については鑑別ポイントを簡潔に図解した。
5. 内部寄生虫の各論では各々の寄生虫と鑑別を要するものも同時に比較できるようにしている。
6. 寄生虫と紛らわしい爽雑物の一覧を掲載した。

CONTENTS

総論1

- 寄生虫各部の名称
1 内部寄生虫：虫体の名称
2 内部寄生虫：虫卵の名称
3 外部寄生虫の名称

総論2

- 内部寄生虫の総検索表
1 虫体から鑑別する
2 虫卵から鑑別する

各論

- PART1 内部寄生虫
犬回虫
犬小回虫
猫回虫
犬鞭虫
犬鉤虫
猫鉤虫
糞線虫
猫毛細線虫
東洋眼虫
猫胃虫
マンソン裂頭条虫
猫条虫
日本海(広節)裂頭条虫
瓜実条虫
縮小条虫
壺形吸虫
日本住血吸虫
肝吸虫
肺吸虫
横川吸虫
コクシジウム
トキソプラズマ
バベシア
ジアルジア
クリプトスポリジウム
犬糸状虫
腸トリコモナス
ヘモバルトネラ

各論

- PART2 外部寄生虫
外部寄生虫の検索図
フタトゲチマダニ
ツリガネチマダニ
キチマダニ
ヤマトマダニ
シュルツェマダニ
ネコヒゼンダニ
ヒゼンダニ
イヌヒゼンダニ
ネコハジラミ
イヌジラミ
イヌノミ
ネコノミ
イヌツダニ
ツツガムシ類

技術編

- 内部寄生虫の検査法と保存法
外部寄生虫の検査法と保存法
寄生虫と紛らわしいものの一覧

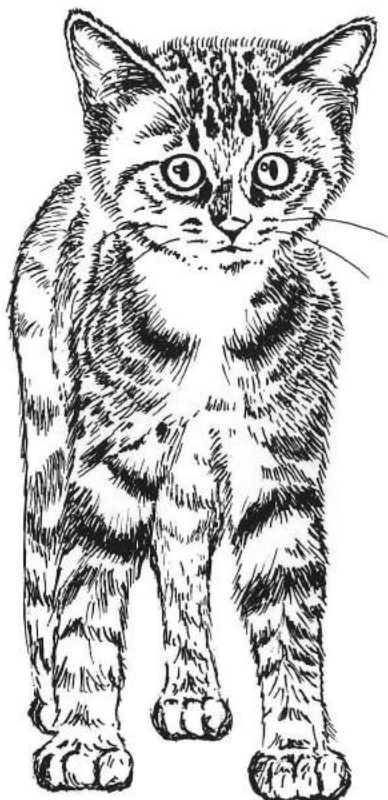
付録 駆虫薬一覧 索引

発行 インターズー

〒150 東京都渋谷区神宮前4-18-6-101

☎ 03-3405-8868 Fax.03-3405-7677

小動物 開業獣医師と 共に歩む



動物用医薬品の総合商社

アイソップ薬品株式会社

〒174 東京都板橋区舟渡2-6-20

電話 東京03(5994)2711番代 FAX03(5994)2714番
〈フリーダイヤル〉0120-203130番

○ 私が看護学会に望むこと

行川アイランド 高山正美

私の勤めている民間の動物園は、自然と動物の調和をメインテーマにしているため、季節により色々な花や果実も一緒に楽しむことができます。こんな、私の働いている動物園を紹介しましょう。

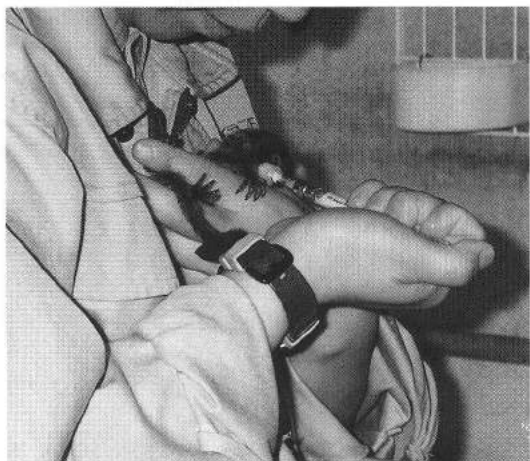
私は現在、熱帯鳥の飼育を担当していますが、何年たっても糞を落とされたり、つつかれたりしています。そんな毎日ですが、卵が産み落とされる瞬間や孵化また、珍しい動物の出産など、貴重な瞬間にも立ち会うことができるのも飼育係の特権だと思っています。

しかし、ナマケモノが出産したときは、母親がしがみついている子を嫌がり、噛みついて傷を負わせ、落としてしまったこともありました。

こういう場合には、人工保育（鳥なら人工育雛）をしなくてはならなくなりますが種類によってはマニュアルや経験が無く、手探りで育てていかなければなりません。最近では、人工で育てる雛が人間に馴れないように、顔の部分や体全体を真似て作ったパペットを使用することがあります。それを本当のお母さんだと思って雛は、餌を貰って育てていきます。勿論、パペットは手作りですから、似ても似つかないようなものもありますけど。

手作りと言えば、私の園では、大部分の動物の展示用看板や巣箱、果ては、飼育場までも、自分達の手でデザインされています、これも楽しい仕事の一つです。

しかし、毎日楽しい仕事が続く訳では、ありません。鳥の場合、病気を隠すため気が付いた時には、餌を食べてくれず、薬を与えることも



エンペラータマリンの人工哺乳

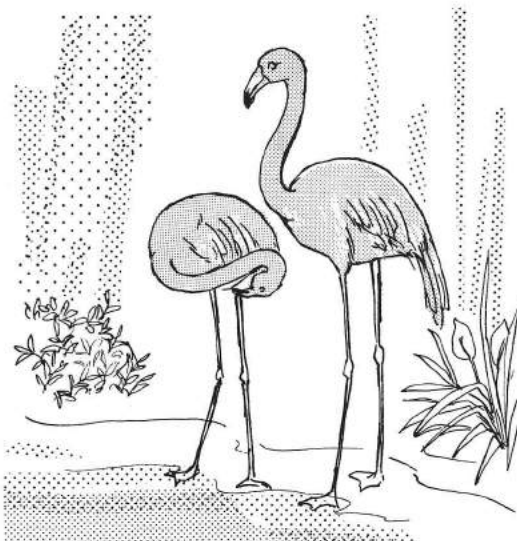
できません。また捕獲の時のショックで死に至ることもあり、より良い判断をすることが大切になってきます。

動物園と看護学会には全くつながりが無いように思われるかも知れませんが、命の貴さを考えたときに看護の知識は必ず役に立つと思ひ仲間に加えさせていただきます。

これからも宜しくお願い致します。



↑ペニフランミンゴの人工育雛↓



○ 日本動物看護学会 設立によせて

動物看護師 小松千江

動物看護師ってどんな仕事をするのですか、と聞かれたら、とりあえず私は、人間の看護婦さんのようなものですよ、と答えます。

もちろん、…のようなものですから違いがあることにも言及します。その違いとはというと、何よりも大切なのは、治療するのは動物であり、その動物を連れてくる人間がそこに介入することだと思うのです。

ですから、動物看護師は、知識と技術を習得することはもちろん、動物の種類の違いによる特性を知り、又、その動物が何を訴え欲しているのかを理解し、連れてくる人間に対しては、精神的な部分をも含めて力になってあげることが必要となります。

では、どうすればそんな動物看護師になれるのか。この会の会長の今道先生のお話された「動物愛護心を実践すること」だと、私も思うのです。

今後は、教育機関である学校と動物病院などの職場でも、体系化された動物看護学を学習し実践していくことで、動物看護師の仕事の深さと楽しさと難しさを知り、又、社会的にも認められることを熱望しています。

最後となりましたが、動物看護学の発展と動物看護師の活躍の場の安定のためにも、この学会がより確固たるものとなりますように希望致します。

○ 日本動物看護学会
発足総会に参加して

動物看護師 秋山圭子

この度日本動物看護学会が発足され、その記念すべき発足総会に一看護士として参加出来た事を嬉しく思っております。又、あらゆるジャンルの方々が動物看護に興味を持ち、動物看護の未来に大きな期待を寄せている事を知り、動物看護を学ぶ者としてとても驚き心強く思いました。今回の学会で諸先生方のお話を拝聴し率直に感じた事は、動物看護学は人間の看護学のように確立された定義もなく動物看護師への認識もまだ浅いという事でした。私はこの学会に来るまでに色々な事を考え疑問に思っていました。そして学会に参加すればすぐに解決して下さると思っていたのです。そう思って来た看護師の方は少なくないでしょう。ところがその考えは覆されました。動物看護学の定義、動物看護師の資格統一、動物病院における看護師の職域、安楽死の問題等々、具体的な問題提議はすでに出されています。それに対し私達看護師は将来のためにもしっかりとした意志と考えを持って学会に参加し、他人任せにせず先生方と供に一つずつ問題点を検討し論じ合いお互いに

理解を深めながら、一緒に動物看護という世界を作り上げていかなければならないと痛感いたしました。これからの教育、研究活動に期待すると共に会の発展をお祈り致します。

匿名

動物看護学会の発足、そして総会に参加出来た事を嬉しく思います。

学校を卒業し社会に出たAHTにとって新しい知識またより知識を深める為に学習の場が増える事はとてもすばらしい事だと思います。

また他の病院で働いているAHTとの交流でAHTの現状などもより深く知る事が出来るでしょう。

AHTの学校や、AHTを将来の仕事として行こうと思っている人が増えているのに、AHTの社会的保障や仕事内容等についてはまだ確立されていない事がほとんどです。

仕事内容の確立によってもっとしっかりとした知識をつけなくてはいけない事も出て来ると思います。「しょせん動物の看護婦さん」で終わらない為にもAHTの職域や社会的保障の確立は今一番求められている事だと思います。

日本動物看護学会の発足によって、私達AHTのそれらの向上のきっかけとなればと思います。

最新刊

野生動物救護ハンドブック

—日本産野生動物の取り扱い—

野生動物救護ハンドブック編集委員会編

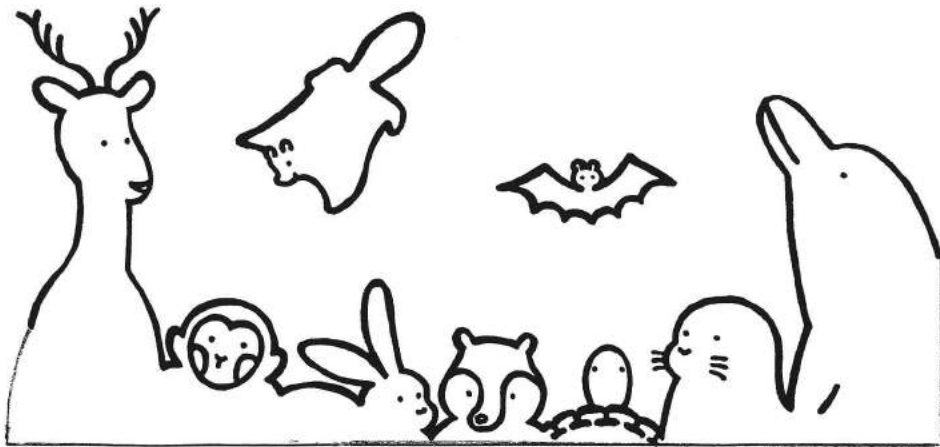


編集者・著者(五十音順, 敬称略): 赤石朋子, 石川 創, 遠藤浩範, 大池辰也, 亀崎直樹, 菊池 博, 齊藤慶輔, 齊藤さゆり, 神保健次, 鈴木一子, 鈴木隆史, 徳山秀雄, 中西せつ子, ◎中山和也, 和 秀雄, 蓮尾嘉彪, ◎羽山伸一, 溝口俊夫, 皆川康雄, 湊 秋作, 柳井徳磨, 山地明子, ◎山本裕彦(◎印は編集者)

B5判, 約300頁, 定価8,240円(本体価格8,000円) 送料510円

[付: 似たもの分類図鑑(カラー写真)]

略目次: 第1章 野生動物救護の意義と課題 1. 救護の動機と目標, 2. わが国の救護の現状, 3. 何が問題なのか, 4. どうすれば解決できるのか/ 第2章 野生動物救護の実際・総論 I. 哺乳類(陸棲)・鳥類編 1. 発見時の応急措置, 2. 救護施設への輸送方法, 3. 救護施設での処置, 4. 食性と給餌法, 5. 野生復帰と追跡調査(陸棲哺乳類編), 6. 野生復帰と追跡調査(鳥類), 7. データの収集法(陸棲哺乳類), 8. データの収集法(鳥類), 9. 病理解剖法(陸棲哺乳類), 10. 病理解剖法(鳥類), II. 鯨類編 1. わが国における鯨類の救護の現状, 2. 救護にかかわる法律と手続き, 3. 発見時の応急処置, 4. 収容施設への輸送方法, 5. 収容施設での対処, 6. 食性と給餌法, 7. 野生復帰と追跡調査, 8. データの収集法, III. ウミガメ編 1. 発見時の処置, 2. 収容施設への輸送, 3. 収容方法と施設の構造, 4. 食性, 5. 野生復帰と追跡調査, 6. データの収集法, 7. 救護にかかわる法律と手続き/ 第3章 野生動物救護の実際・各論 I. 哺乳類 アブラコウモリ, ニホンザル, ノウサギ, ムササビ・モモンガ, ニホンヤマネ, タヌキ, ハクビシン, 蹄脚類, イルカ類, ニホンジカ, ニホンカモシカ, II. 鳥類・爬虫類 ミズナギドリ・ウミツバメ・アホウドリ類, サギ類, カモメ・アジサシ類, カモ類, ワシタカ類, フクロウ類, ドバト・キジバト, ツバメ, ハクセキレイ, ヒヨドリ, ツグミ類, シジュウカラ, メジロ類, カワラヒワ, スズメ, ムクドリ類, オナガ, カラス類, ウグイス類, ヒタキ類, ウミガメ類/ 第4章 野生動物救護情報データベース 1. なぜ救護情報を集積するのか, 2. どんな救護情報が必要なのか, 3. 救護情報システムの確立, 4. 救護情報データベースマニュアル, 5. 救護データベース運用の試み



Bun-ido

文永堂出版

〒113 東京都文京区本郷2-27-18 TEL 03(3814)3321
振替口座 00100-8-114601 FAX 03(3814)9407

□ 私が看護学会に望むこと

金町アニマルクリニック院長 増田寿子

看護学会発足おめでとうございます。今後の活動を大いに期待しております。

獣医学の中であまり取り上げられないテーマを看護学の中に、どんどん取り上げて皆で勉強していったら楽しいと思います。私は動物愛護と環境保護について勉強したいと思っています。

AHTについてだけになります。日々感じていることを書きます。うちの病院にも現在4名のAHTが正社員として勤務しています。

飼主の心理をよく理解して診療にあたるのが、飼主とAHTと獣医師間のストレスをなくし、ひいては病院をスムーズに運営できるコツではないかと思っています。しかし私たち獣医師は専門教育を受けているためにどうしても学術的な興味で患者を扱ってしまいがちです。多忙なため、病気の管理の説明が不足したり一方的になりやすいようです。そのような場合でも、AHTの人たちが、飼主や動物の気持ちをよく反映してくれるので、我々獣医師に色々な気付きを与えてくれます。また、AHT自らが模範的な飼主になってクライアントにワクチン、フィラリア予防、避妊、病気の管理などについてアドバイスをすると、比較的簡単に飼主に受け入れてもらえることが多いようです。

ですからAHTは獣医師の手の届かない部分を埋めていく「結合組織」のようなものだと考えています。「結合組織」の質と量によって病院全体が一本化したり、ばらばらになったりします。そこで質のよい結合組織を適量育てるた

め、看護学会が独自の教育の場になってくださることを望んでいます。

□ 動物看護師について

— 獣医と飼い主の立場から

獣医師 福田 俊

動物看護師を辞書用語的に定義すると、傷病動物の手当や療養上の世話、獣医の診療の補助を職業とする資格を持っている人となる。傷病は家畜やコンパニオンアニマルだけでなく、実験動物、展示動物、野性動物にも起こることを含めれば、動物看護師を獣医の医療補助者と簡単には規定できない。コンパニオンアニマル以外にまで対象を拡大すると、実験動物分野では多くが獣医ではない研究者や実験動物技術士との関係、動物園などでは特殊な動物種に関する知識や飼育経験を有する飼育係との関係、家畜では経済的理由優先などの様々な問題に直面するだろう。紙面の制限もあるので、ここでは現在最も必要性があると思われるコンパニオンアニマルの動物看護師について少し述べてみたい。

犬や猫などの動物は、ながめているだけでも人の心を和らげてくれるものである。ましてや生活を伴すれば、誰よりも真姿につき合える家族になることは言うまでもない。したがってその呼び名もペット（愛玩動物）からコンパニオンアニマル（仲間、相棒、友）に代ってきている。また、コンパニオンには「道連れ」の意味もあり、まさに人生の伴侶である。このような伴侶が、病気になったり、死んだりしたら心配や哀しみはいかほどであろうか。飼い主はできるだけ愛情を持って治

療を受けさせたい、獣医や動物看護師はできるだけ加療や看護をしたい、と思うのは当然である。しかし、先日の日本動物看護学会発足総会において述べられたように、動物看護師の精神がナイチンゲールのそれと同様であるとしても、現実には無償の博愛や美談では成立しないであろう。

資格は、獣医と飼い主だけでなく社会的同意を得るためにも、「動物看護学の知識と技術の習得を認定された者」として必要である。国家試験制度によって認定されることが最も望ましいが、動物看護学の確立、獣医関係の法律との関連性、社会的な必要性などが不明確な現状、そしてとりわけ法律として仕事の義務と責任を明確化して実現化するには非常に困難と思われる。とくに、動物看護師が獣医科病院の診療の補助者とすると社会的な対象としては極めて狭い範囲の職業であり、また社会的に必須な職業であると認められることは容易ではないと思われる。したがって段階的な進行が必要であり、現在検討中といわれる日本獣医師会や日本小動物獣医師会が中心になって全国的な規模で、養成校と協力しながら進めていく方法が現実的である。

次に職場の問題がある。外部から見ると獣医科病院のありかたにも変化があるようで、個人病院において一人の獣医が家族や飼い主の補助を受けながら診療するこれまでの形態から、複数の獣医や動物看護師が働く職場へと変わりつつある。その理由は、社会環境の複雑化や多様化する傷病の診療技術の高度化や専門化の必然性が生じてきているためと思われる。このような変化に対して獣医の卒後教育や勉強会などの努力と同時に、病院の形態も個人病院から総合病院化へ移行していく傾向がみられる。いずれ24時間診療体制で運用される総合病院、あるいはこれに準じた地域社会で

の病院の組織化ができれば、診療の合理化、緊急医療の実施、診療時間の拡大、高価な診療や治療機器の充実などが可能になると同時に、動物看護師の必要性が高まり、獣医の便利屋ではない独立した職業として活躍する場も大きくなり、仕事の内容、義務、責任なども明確になっていくのではないだろうか。

動物看護師を独立した職業として確立するには、まず仕事の内容と同時に、義務と責任を明確にしなければならない。仕事の内容には、診療事務、動物の保定や世話などの簡単な作業から薬物の調合、検査、手術の補助など高度な内容までが期待されているようであるが、このような現在ある内容だけでなく今後必要となる予防医学、「ペットロス」などの精神医学などのように動物だけでなく、飼い主である人との接触も重要になっていくことを考えれば、仕事の範囲はもっと広がるであろう。技術的および仕事の内容から、前述した実験動物技術士には一級と二級があり、知識や技術レベルが分けられているように、動物看護師も生命との直接的なかわりが少ないレベルと手術の補助など直接生命にかかわるような重大な責任が生じるレベルを分けることも必要かもしれない。

別の大きな問題として、経済的基盤の確立の必要性がある。動物看護師を生業とするためには、若い世代の交代だけで維持していくような状態になってはならないし、蓄積された高度な技術や豊富な経験に対する報酬が安定して得られる経済的基盤の確立が必要である。しかし、この問題は、経営者の理解があるにしても、飼い主の診療費負担を増加させ、結果として診療費の上昇が受診数の減少を生じ、本来の動物愛護や看護精神に反する面もでてくるだろう。

これから特に注目される課題として、老年病や痛

などに伴う終末医療のありかたとともに「ペットロス」の取り扱いがある。コンパニオンアニマルの家族である飼い主の精神的動揺まで緩和できる経験や手段を満足に対応できるであろうか。厳しい言い方をすれば、同情なら誰でもできる。「ペットロス」はルールのないドラマだけに、飼い主からみれば獣医と同様に医療スタッフの側にある

「動物看護師」が対応するには必ずしも容易ではないと思われ、「ペットロス」を論じているグループとは考え方が異なっているようにも伺える。したがって他の関係団体との協調も必要である。いずれにしても、今後の動物看護学会の不断の活動によって動物看護学と動物看護師が確立されることを期待したい。

ペットの定期検診、メディカルチェックなどに

CARDISUNY
α6000AX-D

動物用心電図自動解析装置



医療用具承認番号：7畜A第329号

New 解析プログラム

新たに開発されたソフトウェアにより、犬・猫・年齢および体重別に分類されますので詳細かつ精度の高い解析を行うことができます。

- ◆640×480ドットの大型液晶スクリーン
- ◆バッテリー内蔵
- ◆パネルキーにより簡単操作
- ◆FDDによりデータ管理拡張可能



FUKUDA M-E KOGYO CO., LTD.
フクダエム・イー工業株式会社

本社 東京都文京区湯島2-18-2 〒113
営業本部 千葉県流山市南流山6-26-8 〒270-01
TEL (0471) 58-9020 FAX (0471) 58-9028

祝 日本動物看護学会設立

池田動物病院

院長 池田冬美



○勤務獣医師募集

診療時間

①~④ A.M.9:00~P.M.7:00

⑤ A.M.9:00~P.M.6:00

〒142 東京都品川区旗の台2-11-2

Tel.03-3784-0917 Fax.03-3783-1191

第1回の発足記念総会及び記念講演が平成7年の年末の12月に開催されました。予てよりその発足が熱望されていました日本動物看護学会が多くの人々の努力によりやっと産声をあげたわけです。そして第1回にもかかわらず動物看護に心を寄せる人々80名以上の参加のもとに盛大に行われました。

第1回の発足記念総会の会場は、動物看護にふさわしく日本獣医畜産大学の講義室でその雰囲気は、従来の獣医師中心の学会とは様相ががらりと変わり多くの若い女性（現職の動物看護婦さん達）の方々と、看護関係専門学校関係者・実験動物関係者・産業動物関係者・動物心理学関係者・弁護士・臨床獣医師などと多種多様な人々によって埋め尽くされておりました。勿論、マスコミ関係の方々も多く参加してくれて取材をなさっていました。

今までのどこかの学会の付属品のような、看護講習会とは意味を異にし、いかにも看護関係者主体の幅広い学会が成立したことを痛感いたしました次第です。

始めの記念教育講演では、〔人と動物の関係学会会長〕の東京大学の林良博先生による「動物看護士は人と動物のかかわりのなかでどのような役割を担えるか」は非常に興味のある内容で、各方面の方々より活発な意見が交わされ、既存の看護士講習会にありがちな技術論やまた運動論でなく、先生のおっしゃる「学会は運動体ではなく、知のレベルを高めるもの」といった動物看護学の知的レベルの向上の目的がズバリと指摘され、今後の学会の未来に一筋の光明が見えたような気がしました。

またその後のシンポジウムもユニークなもので〔現代社－総合看護編集長及び看護学校講師〕竹内吉夫氏の「日本の看護婦制度・ナイチンゲ

ール看護論」でも多くの動物看護関係者の相互の討論が活発に盛り上がりを見せました。特に教育現場での動物看護教育の問題点や、職域確保のための動物看護婦(士)の資格及び行為許可範囲などについては特に積極的な意見が各関係者から色々と提出されました。これらの問題は関係者全員が今一番早急に考えなければならない問題に思えました。また、そのへんのがこの学会で十分に煮詰められていければいいのではないだろうかと思いました。また、動物看護というものは本来ある意味で獣医師以上の看護理念と看護という専門的知識と看護技術を必要とする職種であり、社会的に相応の地位と保証が確立されなければならないのではないのでしょうか。そのためには、1日も早い教育制度の整備と資格制度の整備が必要に思われるわけです。

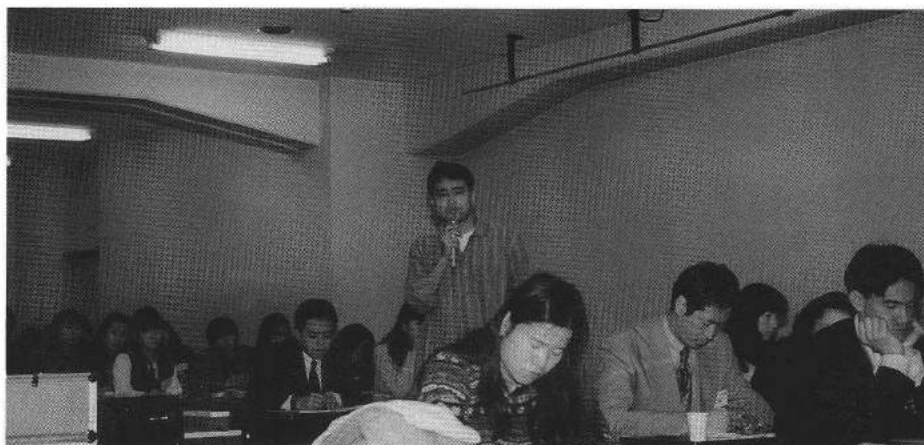
この動物看護学会が発足に至るまでには、多方面からの大勢の人々が何回も討議を重ね、難産の末にようやく発足致した訳で、失礼ではありますが、会長の今道先生（元日本獣医畜産大学学長）の頑固さと、副会長の広田順子先生（埼玉県開業）の真面目な優しさと、やはり副会長である渡辺先生（慶応大学動物心理学教授）の冷静沈着な観察力がいい形で絡み合い、レベルの高い学会が発足できたのではないだろうかと思像致します。また、動物看護業務の職域については法律的立場から弁護士の高見沢先生からアドバイスを受け、現職動物看護士の現状については日本動物看護士の会の皆様方などいろいろな立場から貴重なアドバイスを受け今日にやっといたった訳で、これから時間を掛けていよいよ成熟させていかなければいけない学会なのです。現段階では、動物看護婦(士)は小動物臨床の現場でしか活躍が見られておらず、またその内容においても知識・技術の格差が非常に

大きいのが現状であります。そんな意味でもこの学会が格差縮小の為の知識普及と広い分野への応用拡大の布石になれば理想的なのではないでしょうか。

いつも縁の下の力持ち的存在の動物看護がこの発足総会を機に動物看護学という学問として

表門を開いたことは歴史的に非常に意義のあることだと思いました。

最後に学会の創設に事務局長という立場で奔放して下さった桜井動物病院院長の桜井富士朗先生には全会員より感謝を致します。



会場より質疑

シンポジウム

「ナイチンゲール
看護は有効か」

左より桜井・竹内・廣田（座長）の各氏



第1回総会は、95年12月9日午後4時より出席会員数89名にて開催された。議長団に渡辺茂氏（慶応大学）、小松千江氏（新ゆりがおか動物病院）を選出し、議案審議に入った。

議案は、第1号議案 役員選出

第2号議案 学会規約案承認

第3号議案 平成8年度事業計画

第4号議案 平成8年度予算案

第5号議案 その他

で特に第3号・第5号議案で、今後の活動計画・テーマについては活発な討論がなされた。

学会規約、役員選任予算案はP30～31のように原案通り承認された。

なお、第2回大会は96年6月29日(土)慶応大学三田キャンパスにおいて開催されることが報告・承認された。



発足総会議長団 渡辺茂（右）小松千江氏

会場風景



○ 日本動物看護学会入会方法 ○

入会を希望される方は、連絡事項欄に下記の事項をご記入の上、年会費3,000円（入会金なし）を下記事務局にお振り込み下さい。

連絡欄記入事項

- ① 氏名（フリガナ付き） ② 生年月日 ③ 住所 ④ 電話・FAX
⑤ 勤務先（所属）名

お振込先 郵便振替口座 00110-4-47689
口座名称 「日本動物看護学会」

問合先 日本動物看護学会事務局
〒132 東京都江戸川区松江3-11-17（桜井動物病院内）
☎ 03-3652-9101 ㊚ 03-3656-9288

カップル・コミュニケーション

—— 気づきと人間関係の心理学 ——

S. ミラー
E. W. ヨンナリー 共著 野田雄三・竹内吉夫 訳
D. B. ワックマン B5判 定価2,060円(本体2,000円)



本書は、Couple Communication I, TALKING TOGETHER (1979) の全訳である。本書で紹介されているカップル・コミュニケーション・プログラムは、気づきと人間関係を高めるためのプログラムとして、1968年に、ミネソタ大学のミラー教授らによって開発された。以来、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ各国、オーストラリアなどにおいて、コミュニケーションと人間関係の技法としてめざましい成果をあげている。

本書で用いられている“カップル”ということばは、いわゆる恋人同士や夫婦といった特定の対象のみを指すものではなく、さまざまな人間関係における出会い、すなわち二人の独立した個人の人格的な出会いを意味するものとして用いられている。すなわち当プログラムは、人間関係における“実存的側面”に焦点をおいた、新しいコミュニケーションの理論と実際であるといえよう。

東京都新宿区早稲田鶴巻町514

現代社

電話 03 (3203) 5061 振替 東京5-68248

日本動物看護学会規約

総会資料 1

第Ⅰ章 総則

1. この学会は、日本動物看護学会と称する。
2. この学会は、動物看護に関する研究を中心として、関連する諸領域相互の情報交換の場を設け、この分野における研究の進展を図ることを目的とする。
3. 前述の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - ①動物看護師の諸問題についての事業
 - ②会員の研究発表、シンポジウム、ワークショップ等の開催
 - ③学会誌などの発行
 - ④目的を達成するために必要なその他の事業

第Ⅱ章 会員

1. この学会への参加はこの分野に従事する者および関心を有する者とする。
2. この学会の会員は、正会員および賛助会員とする。
3. 正会員は、この学会の主旨に賛同し、会費を納付する個人とする。ただし2ヵ年度分以上滞納の場合は退会とみなす。
4. 賛助会員はこの学会の目的事業を賛助し、賛助会費を納付する者とする。
5. 会員は学会の主催する研究発表会などに参加し、この学会の発表する出版物などの優先的配布を受けることができる。

第Ⅲ章 役員および会議

1. この学会には次の役員をおく。
会長（1名）・副会長（3名以内）・監事（2名）・事務局長（1名）・理事（若干名）
2. 理事および監事は、総会において正会員の中から選任される。
3. 会長、副会長、事務局長は理事の互選により選出される。
4. 会長は、この学会を代表し、会務を総理する。会長に事故ある時は、副会長がその職務を代行する。
5. 理事は、総会の承認を受けて決定される。
6. 理事は、理事会を組織して会長を補佐し、この学会の運営に当たる。
7. 事務局長は事務局幹事を任命し、運営の実務を司る。
8. 役員任期は2ヵ年とし再任を妨げない。
9. この学会には評議員若干名を置く。
10. 評議員は総会において正会員の中から選任され、第三章の規定が準用される。
11. 学会活動に功績のあった会員を、顧問とすることができる。顧問は理事会が推薦し、総会において決定される。
12. 通常総会は、毎会計年度終了2ヵ月以内に会長が招集する。
13. 臨時総会は、会長または理事会が必要と認めたととき、いつでも招集できる。
14. 理事会は随時会長が招集する。

第Ⅳ章 会計

1. この学会の経費は、会費その他の収入をもってこれに当てる。
2. この学会の会計年度は1月1日に始まり12月31日に終わる。
3. 理事会は、毎会計年度の収支決算を通常総会に報告し、承認を受けなければならない。

付 則

1. この学会の会費は、年額正会員3,000円、賛助会員一口30,000円以上とする。
2. この定款は1995年12月9日より施行する。
3. この定款の変更は総会の議決による。
4. この学会の議決は出席者の過半数の賛成をもってする。
5. この学会の当面の事務局を東京都江戸川区松江3-11-17、桜井動物病院内におく。

1995年12月9日制定

総会資料 2

【理 事】(順不同・敬称略)

沼 慶一郎 (哲学)	今道 友則 (日本獣医畜産大学名誉教授)
桜井富士朗 (桜井動物病院)	廣田 順子 (武蔵藤沢動物病院)
高橋 和明 (日本獣医畜産大学)	林 良博 (東京大学)
渡辺 茂 (慶応大学)	桑野 悟 (動物病院モルム)
幅田 慶子 (センターヴィル動物病院)	

【監 事】(順不同・敬称略)

竹内 吉夫 (『総合看護』編集長) 高見沢重昭 (弁護士)

【評議員】(順不同・敬称略)

古谷 泉	植松 一良	宮田 勝重	佐久間明美	岡ノ谷一夫	浅見千鶴子
小松 千江	清水 誠	内野 富弥	仲間 一雅	伊藤 勇夫	青木 信夫
白井 玲子	幅田 功	和 秀雄	杉山 公宏	石田 千晴	海老野耕一
信永 利馬	若藤 靖匡	吉村 亮子	紺野 耕	手塚 泰文	甲山 譲児
三浦祐美子	小方 宗次	辻 弘一	池本 卯典	富沢 保治	斉藤 徹
大和田一雄	小峯 英夫	田中 吉春	戸塚 耕二	小杉正太郎	村田 富夫
竹内 静香	森 裕司				

【予算案】

収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	¥600,000	¥3,000×200名
賛 助 会 員	¥900,000	¥30,000×30
計	¥1,500,000	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
会 議 費	¥200,000	
雑誌印刷費	¥1,000,000	(年2回発行予定)
郵 送 費	¥150,000	
事 務 費	¥150,000	
計	¥1,500,000	

編集後記



日本動物看護学会の学会誌『Animal Nursing』（アニマル・ナーシング）の第1号がやっとここに完成いたしました。第1回大会から早いものでもう半年の月日が流れてしまいました。動物の看護を多方面から試行錯誤しようという趣旨で今回は動物看護婦の方や野生動物及び展示動物などの方々から色々な意見をお伺いいたしました。2号・3号と回を重ねるごとにより充実した内容の学会誌になっていければと、編集委員一同努力していきたいと思っております。また、堅苦しい内容でなくて結構ですから、多くの会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。

編集委員

古谷 泉（慶応義塾大学） 米田 智子（千葉大学） 竹内静香（ペット新聞社）
桜井富士朗（桜井動物病院） 桑野 悟（動物病院モルム）

『Animal Nursing』

（アニマル・ナーシング）

1996年6月 第1号

定価2,000円

発行 日本動物看護学会

発行人 今道 友則

〒132 東京都江戸川区松江3-11-17

桜井動物病院内「日本動物看護学会」事務局

TEL 03-3652-9101 FAX 03-3656-9288

印刷所 ベーテルフォト印刷株式会社

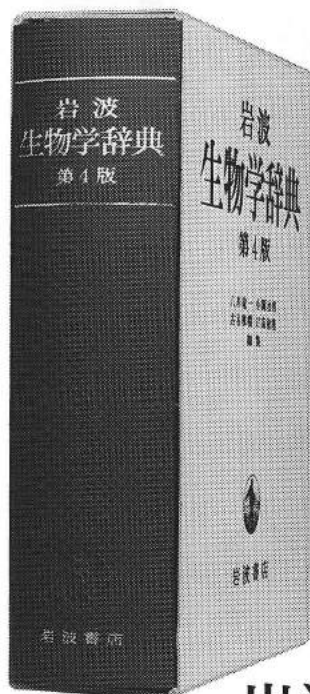
生物学領域の最新知識を網羅 新発売!

岩波 生物学辞典

〈第4版〉

〔編集〕 八杉龍一・小関治男・古谷雅樹・日高敏隆

関連諸科学までを包括した、唯一の総合生物学辞典として定評のある本書の最新版。生物共存の時代といわれる来世紀を展望し、多様な生命像の理解に欠かせぬ一冊。300名を越す第一線研究者の執筆で最新情報を網羅、生物分類表も含め全面改訂。判型拡大、四万語を超える和文索引の新設など、使いやすさも格段に充実した。〔内容見本進呈〕



本辞典の特色

最新版 / 唯一の総合生物学辞典

現代生物学全般はもとより、関連諸科学までの最新成果を包括し、生命活動の多様さの理解に欠かせない唯一の類書のない辞典。

全面的改訂

新規に加えられた項目は1100以上、第3版からの項目の解説もほとんどすべて記述が書き改められ、図版の新規追加・改訂は420を超える。

使いやすさが格段に向上

判型を菊判に拡大、字の大きさ、行間なども拡大。また項目名を際立たせるなど、引きやすさ読みやすさに一層の工夫をこらした。

和文索引の採用

従来別だてであった生物分類表索引までもまとめた詳細な和文索引を新採用、知りたい事項・生物名4万以上にダイレクトにアクセスが可能。

一層充実した巻末付録

分類表も一新され、細胞の微細構造図に加え、最新の学問成果である細胞の機能面の理解を助ける図を付加した。

完成記念特別定価 = 8800円 (提供期限 7月31日)

菊判・上製函入・クロス装・1888頁 定価9500円

岩波書店



東京都千代田区一ツ橋 2-5-5
〒101-02 [定価は税込みです]

ピカソを見わけるハト——ヒトの認知、動物の認知——

渡辺 茂著 驚くほど多量の図を記憶するハト、人間のことで内面世界を表現するオウム、ジェスチャーや音声による文を理解するアシカやイルカ。動物たちの不思議な知的能力の世界を人間と比較しながら探る。

定価8500円

植物からの警告——生物多様性の自然史——

岩槻邦男著 生命誕生以来、進化や分化を重ね、今日に至る10万種の生物。環境と絶妙な影響関係を持ちつつ織りなされる、熱帯林や砂漠、人里の森の植物たちの「生」のドラマを探究する。

定価9500円

イメージと人間——精神人類学の視野——

藤岡喜愛著 人間の精神は生物の中からのようにして進化したのか。精神作用の中でイメージはどんな性質をもち、創造の可能性はどこからくるのか。本書は生態学・習性学・精神医学等の蓄積と壮大な構想力による独自の科学認識論。

定価773円

「気」とは何か——人体が発するエネルギー——

湯浅泰雄著 患者に気を送って病気を治す。武道家が一瞬の気合で相手を倒す。これらがなぜ可能なのか。体内や他人に及ぼす気のエネルギー計測を紹介しながら「気」の正体に迫る。「気」の働きの全体像を初めて説明。

定価8500円

脳からみた心

山鳥 重著 広大な無意識の領域をもつ心の世界。なぜ一人の人間の中に矛盾する心が存在するのか。——脳から心を考える新しい分野・神経心理学の第一人者が、今まで知られていなかった心の構造について、新しい光をあてる。

定価9000円

セルフコントロールの医学

池見西次郎著 心身医学の国際的権威が説く健康と自己実現への道。東洋の哲理と西洋の治療技術を統合させようとする著者30年の思索と実践の結晶を、万人のためのセルフ・コントロール法として、厳しい現代に生きる人たちに贈る。

定価1,1000円

言語を生みだす本能(上)(下)

ステイブン・ピンカー著／椋田直子訳 世界的言語学者が、言語の思考規定説を否定し、人類普遍の心的言語の存在を明かす。又、人は生来、諸言語に共通する文法の基本原理を本能レベルでもつくとを裏づける衝撃の書。

定価1,3000円

日本動物看護学会設立にあたって

日本看護学会会長 今道友則

私達は2年余り前から有志で会合を重ねて準備し、今日ここに動物看護に関心ある多数の方々にお集まりいただき、日本動物看護学会を設立するに至りましたことをご参集の皆様と共に喜ぶ次第であります。

動物看護学は未だ確立されたものではありません。しかし、現在既に、動物看護師、Veterinary technician 或は Veterinary assistant と呼ばれる相当多数の方々、小動物の病院で実際に獣医師の診療を補佐し、入院患者の看護を専門の職業として働いておられます。これらの方々の養成する専門の学校も存在し、その経営や運営に当たる方々は熱心に動物看護の技術者養成に力を注いでおられます。また、動物病院の院長ご自身で技術者を養成しておられる場合もあります。私達は、これらの方々を専門職として認識しておりますが、人の病院における看護婦・看護師のように公認された制度は未だ確立されておられません。

動物の看護を職とする方々に、専門職としての身分を保証するためには、それらの方々がどのような専門知識と技術の訓練を経て、どの位の実力を備えているかを公認する必要があり、それを裏付けるのが動物看護学であると思います。そして動物看護学を確立し発展させるのがこの学会の役目であります。

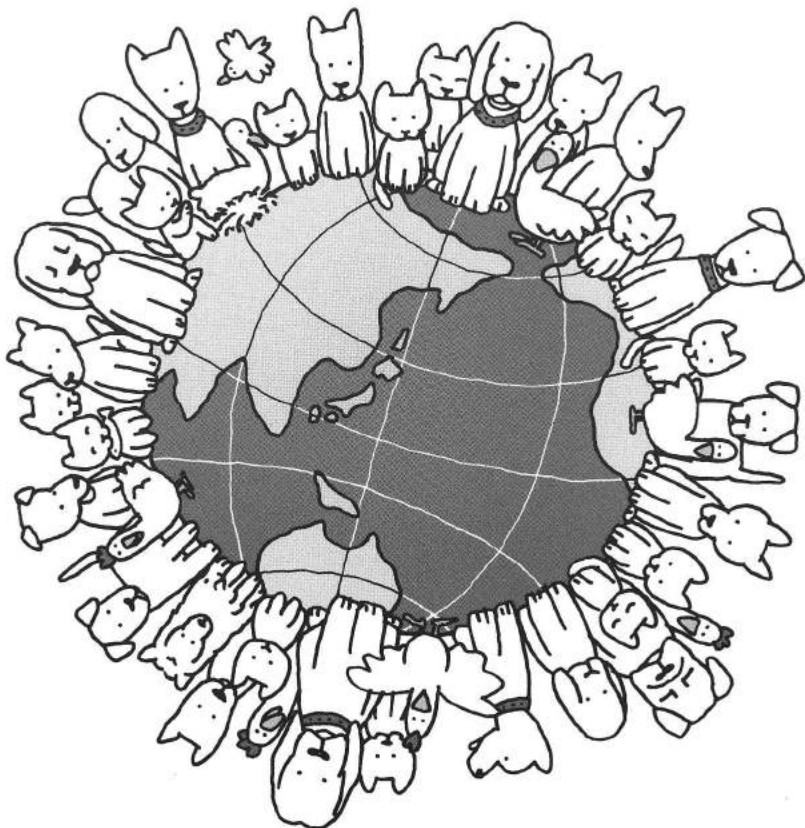
動物看護学は、獣医学よりも、より実践的なものと考えられます。普遍的な学理は実践的経験から生み出されるものでありますから、会員の皆様には日常の仕事で体験したことをどしどし発表していただきたいと思います。そして特別講演・教育講演・セミナー等も企画して情報交換と相互の向上を図りたいと思います。動物看護の対象は動物であり、主として伴侶動物の犬猫でありましょうが、その他の愛玩動物・エキゾチックアニマル・大家畜・飼育野生動物・傷ついた野生動物及び実験用動物にまで拡大されると思います。従って動物看護学は獣医科病院の動物看護師や獣医師のみならず、実験動物飼育管理技術者・畜産技術者・動物園の飼育管理者を志す方々も学ばなければならないものと考えられます。

動物看護師の修得すべき知識技術として獣医師の診療を補佐するための獣医学的知識の

概要と補助手段及び治療前後の動物の取り扱いだけが重視されていますが、動物看護はもっと広く考えるべきであり、高齢動物の看護・助産、及び飼い主に対する技術的精神的指導も含まれ、その根源は動物愛護心を実践することであると思います。物言わぬ動物の快・不快や欲求や満足感等の心の動きを推察できる必要があります、動物行動学・心理学の専門家のご協力をいただかなければなりません。また、人の看護学の専門家のご助言を仰ぎ動物看護学を体系立てる必要があります。そして、時には止むを得ぬ安楽死の問題も生ずるので、このようなAnimal ethics 問題も含めて、動物看護学の堅実な発展を図り、動物看護学をバックボーンとして独立した専門職として動物看護師が活躍できる環境を整えることを目指したいと考えています。動物看護学の発展のために皆様と共に邁進したいと思います。

(お詫び：2ページ「日本動物看護学会第2回総会のご挨拶」は今道先生の総会でのご挨拶のお言葉でした。今道先生には多大なご迷惑をおかけいたしましたこととお詫びし、訂正文を差し替えさせていただきます。)

大日本製薬の小動物用製品



■犬糸状虫症の予防に……

カルドメック錠/チュアブル

(動物用医薬品)

■猫の犬糸状虫症予防および回虫・猫鉤虫駆虫剤

カルドメック錠/チュアブル FX

(動物用医薬品)

■犬の慢性心不全に……

エナカルド錠

(動物用医薬品)

■犬糸状虫成虫抗原検査キット

スナップ・ハートワーム

(動物用医薬品)

■FeLV抗原/FIV抗体同時検査用キット

スナップ・FeLV/FIV コンボ

(動物用医薬品)

■犬・猫用ニューキノロン注射剤

ビクタスS

(動物用医薬品)

■疾病の食事管理に……

Prescription Diet

■健康維持の食事管理に……

SCIENCE DIET

■首輪型ノミ・マダニ駆除剤 首輪型ノミ駆除剤

ロングゲイン_L ロングゲイン_S

LONG GAIN (動物用医薬品)

(動物用医薬品)

■犬用ノミ取りシャンプー/ムース

キャプティブ[®] シャンプー/ムース

(動物用医薬品部外品)

■全身麻酔に……

ネプタール[®]注射液

(動物用医薬品) (要指示医薬品)

■イヌパルボウイルス感染症の予防に……

犬ノパルボ不活化ワクチン“化血研”

(動物用医薬品) (要指示医薬品)

効果と嗜好性のベストマッチが生み出す 優れた食事療法食。



ケーナイン ダイエット ラインナップ

高栄養ダイエット
 ロープロテインダイエット
 ローカロリーダイエット
 ローファットダイエット
 セレクトプロテインダイエット
 ミディアムプロテインダイエット
 ローソディウムダイエット
 ハイファイバーダイエット

フィーライン ダイエット ラインナップ

高栄養ダイエット
 ローカロリーダイエット
 pH-コントロールダイエット
 ロープロテインダイエット
 セレクトプロテインダイエット

輸入元：マスターフーズリミテッド 〒211 神奈川県川崎市中原区小杉町1-403
 総販売元：共立商事株式会社 〒102 東京都千代田区九段南1-5-10

